

2025年度防災人材交流シンポジウム「つなぎ舎」に共催

～ 防災人材交流を通じて地域防災力を向上 ～

日本損害保険協会中部支部委員会(委員長：渡辺一奈・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員)では、あいち・なごや強靭化共創センターが主体となっている防災人材交流シンポジウム実行委員会が主催の「つなぎ舎(つなぎや)※」に共催として参加しました。

※つなぎ舎とは、各地域で活動する県や各市町村で実施された人材育成プログラムの修了生の相互交流を図るため、

2011年から「防災人材交流セミナー（現防災人材交流シンポジウム）」を開催。地域における防災人材の交流を促進し、情報交換の場を構築することで、防災人材間の「つながり」を構築していきます。

日 時：2026年1月11日（日）12:00～18:00

場 所：名古屋大学 豊田講堂

参加者：約 200 名

今年度のつなぎ舎では開催前に炊き出しを行い、多くの参加者が温かい食事とともに交流を図っていました。

つなぎ舎第1部では、名古屋大学福和伸夫名誉教授による「南海トラフ地震の新たな被害予測と対策について」の講演や、東日本大震災で被災された語り部の方から未来へつなぐ説明などがありました。

第2部では、防災人材ワークショップを開催し、3つのテーマ（命をつなぐ本気の事前防災、防災人材をつなぐ本気の産官学民連携と人材育成、過去から未来をつなぐ本気の災害伝承）について意見交換を行い、検討結果をまとめ発表を行いました。

第3部では、第2部で実施したワークショップを通じて厳選された検討結果を踏まえて登壇者によるパネルディスカッションが行われました。

終了後、有志の参加者による情報交換会が開催され、日頃の活動や、今後の活動連携などについて話され、懇親を深めました。

当支部では、今後も行政や関係機関と協力し、地域の防災力を高めるため、防災・減災啓発活動を進めて参ります。



第1部 福和名誉教授による講演



第2部 ワークショップの様子



第3部_発表の様子



炊き出しによる交流の様子